

未来の学校

森林環境科・インテリア科

「未来の学校」構築事業

長野県では今、「高校改革～夢に挑戦する学び～」を旗印に、高校教育の発展的な将来像を見据えた検討が進められています。「未来の学校」構築事業もその一環で、2020年度には木曾青峰高校を含む県内の6校が研究の実践校として指定され、変化を続ける社会の諸状況に対応しながら、魅力的な学びの場の創出を目的に、各校が独自の教育プログラムに取り組んでいます。

木曾青峰高校「未来の学校」

「高度な産業教育を推進する高校」の実践校としての取り組みを通して、地域の未来を担う地域産業人を木曾青峰高校（森林環境科・インテリア科）より輩出する教育プログラムです。

基本プログラム

- ・哲学対話
- ・環境教育
- ・地域理解教育
- ・デザイン教育

1年生

実践プログラム

- ・企業連携、見学
- ・林業大学校との連携
- ・上松技術専門校との連携

2年生

提案プログラム

- ・課題研究
- ・木曾の未来への提案

3年生

高校と地域の持つ資源との一体的で、一環した新たな教育プログラムの実践

「未来の学校」では様々な授業を実施しています。今回はその一部（1年生の取り組み）をお伝えします。

01 哲学対話

未来の学校スタート！テーマは「問い」

自分への「問い」を深め、未来を考える力を身につけるため、未来の学校では先端の学び「哲学対話」を実施しています。長野県立大学グローバルマネジメント学科准教授馬場智一先生をお招きし、1年生全4学科合同で哲学対話を実施しました。

グループで取り組む「人生すごろく」や「問い出し」のワークショップで、自分や他者の様々な考えにふれ、視野を広げ、思いを深める時間となりました。



生徒の感想

★「同じ問いを持つ人もいれば、まったく考えなかった問いを持つ人もいて、考えを共有することの大切さを実感した」★「問いを通じて、その人の考え方や価値観を知ることができると思った」★「答えのない問いをつくるのが楽しかった」★「対話を通じて当たり前だと思っていたことも改めて考えると疑問が多かった」

02 地域産業人に学ぶ

活躍する「11人の産業人との座談会」

木曾郡内で活躍されている起業家や作家など11人をお招きし、座談会を実施しました。本校0Bのプロカメラマン、奈良井宿カフェオーナー、林業家、猟師兼工芸作家の方などのそれぞれの事業内容や、仕事に込める思いなどを直にうかがうことができました。



生徒の発見

★人とのつながりが宝物★成功するためにはやり続けることが大切★やりたいことをしているとつらいことがない、なぜならやりがいとうれしいことが支えてくれるから★とにかく経験をつむと必ず将来につながる「可能性は無量大」

03 マイプロジェクトに挑戦

木曾を盛りあげる「モノ・コトデザイン」

一人一人が主役となりマイプロジェクトを企画します。「イラストで木曾の魅力を紹介」、「野生動物の命を活かすジビエ」、「古民家を再生!」、「木曾の星空満喫プラン」、「自然を活かした公園づくり」など、個性豊かなワクワクするプロジェクトがスタートしました!

このマイプロジェクトは3月中旬、ポスターセッション形式で発表会を行う予定です。



スクールマガジン4号を発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきたいと思っております。また本校のウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。

■木曾青峰高等学校 教務室 Tel : 0264-22-2315 / Fax : 0264-21-1056 URL : <http://www.nagano-c.ed.jp/seiho/>

総合的な探究の時間（通年）

普通科

「総合的な探究の時間スタート！！」

今年の1年生（普通科）より、総合的な探究の時間がスタートしました。

自分を知る、地域のことを知る…。様々な分野の外部の方の講演を聴いたり、街歩きをしたり、自分たちのテーマについて幾度となくグループワークを繰り返したり…。

ただいま、観光、食、農業における獣害、方言などのグループに分かれてリサーチをすすめています。

授業の様子



生徒の感想（抜粋）

- ★学校だけでなく、街に出たり、木曾で働く人の話を聴いて、この伝統は地域の人によって守られているんだなと思った。木曾の方言を調べていくにつれて、今では残っていない方言もあって木曾の歴史は深いなと思った。
- ★ゆくゆくは、今の木曾の郷土料理における課題を見つけ、より多くの人に木曾の郷土料理を楽しんでもらえるよう、改善していきたいと考えています。
- ★木曾の鳥獣・昆虫による農業被害の解決に少しでも貢献できるよう活動を続けていきたいです。

星の教室 2022

8月2日（火）

理数科

最先端そして世界唯一の天文台で “星の教室 2022”

テーマは “宇宙の年齢”



観測所内の見学



テーマ解析・討論



東京大学木曾観測所

最先端そして世界唯一の天文台で “星の教室 2022” が行われました。テーマは “宇宙の年齢” です。グループごとに、プログラムを用いて解析・討論し、プレゼンテーションを行いました。また、夜の観測会では土星と夏の大三角形を観ることができました。

生徒の感想 ★シュミット望遠鏡 “トモエゴゼン” の迫力に圧倒された。すごい機能に驚いた。★宇宙に関する講義を聞いて、実際に宇宙の年齢を計算で求めたことは良い経験となった。★内容は難しかったが、グループで協力しながら討論して最後の発表まで辿りつけて達成感を感じた。

定時制の活動

8月～11月

定時制の活動 8月～11月



最優秀賞



スポーツ大会



立会演説会



遠足・芸術鑑賞

★9月に塩尻市レザンホールで開催された「令和4年度中信地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」では、4年生の栗屋陽花さんが最優秀賞を受賞しました。また県大会へも進み優良賞を受賞しました。自分のこれまでの人生を振り返り、困難を乗り越えて成長してきた貴重な経験を堂々と発表してくれました。

★10月には「スポーツ大会」を開催してバドミントンと花火大会を楽しみました。また「遠足・芸術鑑賞」では松本を訪れて映画鑑賞と街の散策をしてきました。

★生徒会活動では「立会演説会」と「選挙」が行われ新生徒会長と新役員が決まりました。4年生からバトンを引き継ぎ、生徒総会も開催され新体制の生徒会がスタートしています。